



土砂災害に備えて

お問い合わせ先
 ■七戸町役場 総務課
 ■青森県 上北地域県民局 地域整備部
 ■青森県 県土整備部 河川砂防課

電話番号0176-68-2111
 電話番号0176-22-8111
 電話番号017-722-1111

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に食い止められるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。


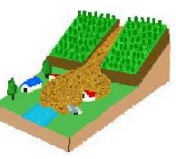


土砂災害ハザードマップ（防災地図）は、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおおよそおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。また、このような時には浸水被害なども生じる可能性があることから、これらの危険性のある箇所についても示しています。

集中豪雨などにより土砂災害などが発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようにしてください。

平成22年〇月 七戸町

土砂災害の種類と前兆

土砂災害の3つのタイプ		こんな前兆には要注意！	
がけ崩れ	 <p>大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。</p>	がけ崩れの前兆 <ul style="list-style-type: none"> ●がけからの水がにごる ●がけに亀裂が入る ●小石が落ちてくる ●がけから異様な音がする 	地すべりの前兆 <ul style="list-style-type: none"> ●地面にひび割れができる ●井戸や沢の水がにごる ●斜面から水がふき出す
土石流	 <p>谷や斜面に堆積した土砂が大雨によって水といっしょに一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいため、莫大な被害をもたらします。</p>		
地滑り	 <p>比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。</p>		

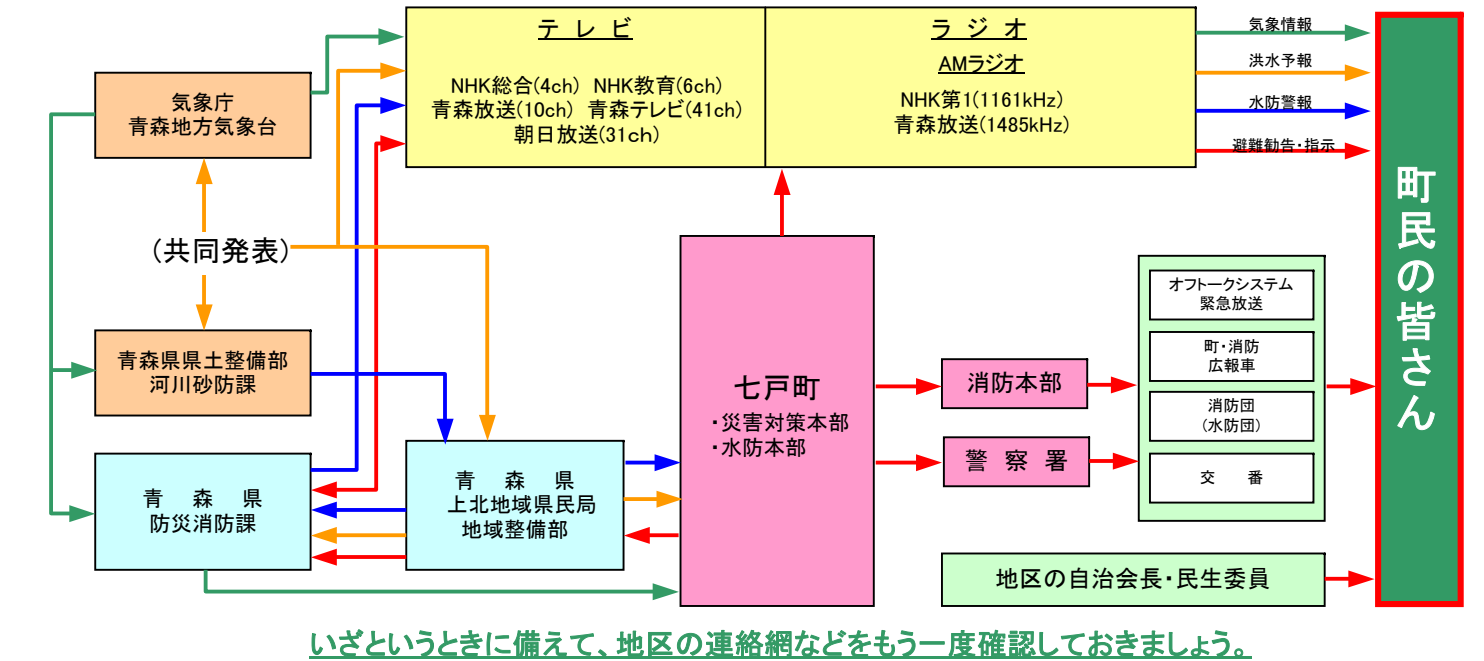
七戸町における土砂災害などの発生状況

七戸町周辺では、過去に繰り返し風水害などに襲われています。

西暦	年月日	災害種別	災害状況
1967	S.42.10.28~29	台風34号	床上浸水53戸、床下浸水185戸、がけ崩れ3箇所、がけ崩れ被害5世帯
1979	S.54. 9.30	台風16号	床下浸水25戸、道路決壊3箇所
1990	H. 2.10.26	台風14号	床上浸水4戸、床下浸水42戸、河川15箇所、道路28箇所
1991	H. 3. 9.28	台風19号	家屋全壊16戸、家屋半壊7戸、家屋一部損壊194戸、公共施設30施設

※七戸町地域防災計画書資料編から抜粋

気象情報や避難情報の伝わり方



非常持ち出し品チェックリスト		＜あなたの命を守るために＞	
飲料水(ペットボトル)	雨具	万一、安全な場所へ避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。このとき、斜面や溪流に対して反対側の部屋にいる方がより安全です。	
乾パン	ヘルメット		
缶詰	軍手		
粉ミルク	懐中電灯		
医薬品	ろうそく		
常備薬	マッチ		
貴重品	携帯ラジオ		
下着類	電池		
セーター	缶切		
タオル	ナイフ		
常備品		七戸町指定避難所(作田・後川原地内)	
インスタント食品	消火器	施設名	所在地
飲料水(ポリタンク)	固形燃料	七戸中学校	鶴児平191番地
			電話番号
			62-3220
災害の状況に応じて避難先が安全か十分に確認しましょう			

わが家の防災メモ					
わが家の安全な避難場所					
指定避難施設					
家族が離ればなれになったときの集合場所					
家族の連絡先			いざというときの連絡先		
氏名	電話	メモ	連絡先	電話	メモ